

シアトル別院時報

44巻10月号

2025年度 BCA 教化標語

過去へ感謝、未来へ歩む



今日のご法話

ヒロシマ、ナガサキ原爆80年



輪番 楠 活也

ヒロシマ、ナガサキ原爆80年

今年、広島、長崎に原爆が投下されて80年の年になります。シアトル広島クラブと協力し、シアトルにご縁のある被爆者の方々の体験記をご紹介します。この機会に、80年前に起こった悲劇を学び、みなさんと平和について考えさせていただきたいと思います。インタビューのビデオは、シアトル広島クラブのYouTubeでご覧いただけます。

ヒロシマ原爆体験記—田中 リク子（当時18歳）

1945年、私は日本赤十字病院で、看護婦になる勉強をしていました。8月6日は、病気で休んでいる人のための食事を運んでいるときだったんです。寄宿舍にほど近いところで、パッと光って、それと青い炎も見ました。危ないと思って、防空壕へ行こうと思ったんですけど、防空壕へ行くまで時間がなくて、すぐに宿舎の入り口に入ったんです。そしたらそこでそのまま下敷きになって、気が付いた時は、もう、身動きできませんでした。

気が付いたのは、数時間たった後だったと思います。気が付いた時、大きな声で「助けて助けて」て言うたもんですから、寄宿舍で休んでいた人が、「あ、山田がいる、山田がいる。」という。私は旧姓山田でしたから。続けて「助けて」て言うたんですけど、同級生の二人はそのまま逃げてしまいました。そのときはもう仕方がないから、それでも「助けて、助けて」て叫び続けて、しまいには声がかれてしまいました。誰もいないところで叫んでも仕方がないと思って、「せめてここで死ぬのを誰かに知ってもらいたいな。」と思ったり、いろんな事考えたりしました。そして、ちょっと人声がしたら、大きな声で「助けて、助けて」言って、ほいでも、下の方だから、その人たちも通り過ぎて行ってしまいました。もうあきらめて、せめてここで私が死ぬると言うことを誰かに知

10月のカレンダー

日曜法要ユーチューブ同時配信あります

- 2日(木) 1時半 日系マナー法要
 - 5日(日) 10時 日曜法要
ダーマエクスチェンジ・
日本語法要合同
 - 12日(日) 10時 日曜法要
ダーマエクスチェンジ
10時50分 日本語法要
 - 16日(木) 1時半 日系マナー法要
 - 19日(日) 10時 シアトル別院婦人会
先亡者追悼法要
ダーマエクスチェンジ
10時50分 日本語法要
 - 21日(火) 9時半 日本語法座 ZOOM
6時半 スタディー・セッション ZOOM
 - 22日(水) 11時 メリル・ガーデン法要
 - 26日(日) 10時 初参り法要
ダーマエクスチェンジ無し
日本語法要無し
ダーマスクール イベント
 - 28日(火) 9時半 日本語法座 ZOOM
- 1日-20日 輪番 別院不在
月曜日 楠輪番 休み

ってもらいたいなと思いながら、「南無阿弥陀仏」と称えました。「お父さん、お母さん、さよなら」
て言って、兄弟の名前、友達の名前もみんな呼んで、一人一人にさよならを言いました。もうあきらめ
てた時に、また、人声でした。それで、また、叫んで。ほしたら、その人が掘り出してくださ
ったんです。掘り出してくださった方は、おじいさんと若い息子でしたけど、掘り出された時は、壁土や
らなんやらかぶって、全身真っ白でした。その時、「ありがとう」を言いたくても、言葉、声が出ない
んです。ほしたら、そのお爺さんが、「助かってよかった。よかった。」言うて、頭の灰やら体の灰や
ら払ってくださって、二人で向こうの方へ行ってしまうたんです。だから私は、命の恩人の名前も知
らないんです。はっきりした時間はわかりませんが、それがもう、原爆から7～8時間たった後だと思
います。そして、寄宿舎の方へいかんといかんと思って、歩いて行ったんです。歩いていく途中、建物
はみんな崩れているし、ケガした人や火傷した人は、ぼろぼろの服を着て、垂れ下がった格好をして、
歩いておられました。私も何か履物はいてたはずなのに、はだしです。寄宿舎へ帰ると、炊き出しして
おられましたよ。寄宿舎は木造でしたから、下敷きになった人がたくさんいたんです。戦時中、日赤病
院は、陸軍病院になっていて、兵隊や軍人がみんな入るんです。外来患者も診ますけども、入院患者は
ほとんど軍人でした。元気な方たちが、みんな一緒になって、寄宿舎に埋もれている人たちを、助け出
してくれたんですけど、でも、最後には火が回ってきて、助け出すことができなかった人もいます。そ
の夜は、ほかのところの病院の方に火が移るのを防ぐために、火たたきなんかを持って、火の粉をみん
なでたたいて消したんです。

夜は、病院の中はガラスがいっぱい壊れてて、足の踏み場もないように危なかったので、病院の
フロントの芝生の庭のところへ五、六人ずつかたまて寝たんです。何日間だったか、一週間くらいだ
ったか、そこで寝起きしたんです。野宿ですね。

食事は、軍患者の方が主になって、みんな焼け野原だから、みんなたいていどっかから、なんか
持ってきて食べました。大きなかまどなんかで、ご飯炊いたりして。ご飯といっても米粒は数えるほど
しかないんですけど、なにか食べ物は作ってました。吉島という牛の屠殺場があったんですよ。一回は、
そこから逃げてきた牛を殺して、みんなで食べこともありました。牛肉ですから、ごちそうですね。

お風呂もなかったです。ドラム缶を持ってきて、ムシロみたいなもので囲いをして、お風呂を沸
かして、みんなで入ったこともあります。

2週間くらいそんな生活していました。少しずつ院内を片づけて、ベットがあったので、少しづ
つですけどそこへ移って、ベットに寝ることができました。9月初めに台風が来たんです。はじめの頃
は一階、二階に寝てました。三階には、大きな講堂があったんです。そこへ移って、大きなルームヘベ
ッドを何台も並べて、みんなで寝てました。台風が来たときは、窓が壊れていて全部ないから、布団が
みんな飛んでしまって、びしょぬれになってしまいました。その年の12月ごろに、正常とまでいかな
くても、何とか形を整えて、授業も受けられるようになりました。

とにかく核のない世界にしてほしいです。本当に人間のいのちって短いし、一つしかない、一度
しかない、いのちですから、みんなが助け合って、戦争のない世界にしてほしいと思います。

日本語のメール・アドレス。 seattlebetsuin.nihongo@gmail.com

- シアトル別院では今でも放火よりの修復工事が続いていますがお葬式などのご相談は事務所までご連絡ください。
- 事務所にご用の方は電話かメールで予約をおとりください。事務所の時間は月、火、水、金 9 時半—5 時半、木 9 時半—3 時。206-329-0800
- 祥月法要のお名前が毎月英語面に掲載されます。
- 日曜法要にお越しの際はジムの大きなドアの左側にある小さいドアからお入りください。裏のキッチンドアでも入れます。電気工事の配線などの工事中です、危険ですから「立ち入り禁止」サインのある場所からはいらぬようご注意ねがいます。
- 現在別院ジムで日曜法要がありますが今も工事中ですので、週日はジムやその他の部屋は使えないことがあります。事務所に事前に連絡してお確かめください。



会長の挨拶

理事会会長 森口タイラー
chairperson@seattlebetsuin.org

秋は私の好きな季節です。暖かいスープかシチューをちょっと冷える夜や早朝の早歩き散歩のあと頂くのは嬉しいです。それとお寺で子供たちがダーマスクールに帰ってきたのを見るのも笑顔にしてくれます。ダーマスクールの理事会、先生達、いつも時間とエネルギーをもってダーマをシェアしてくださってありがとうございます。

ダーマスクールでボランティアをするのも「ダーナ」から来ています。ギビング、日本語の「布施」です。次の数ヶ月サンガメンバーから別院理事会の一員となる方、来年のBCA ナショナルカンセル・西北部仏教徒大会、別院創立125周年イベントにボランティアされる方を探しています。これらのイベントが成功するのにサンガメンバーのダーナによります。ご自分の出来る範囲内でご奉仕されることをお考えください。

10月19日シアトル別院婦人会先亡者追悼法要、26日初参り法要にご出席ください。合掌、

納骨堂

去年より納骨堂コミティーがお寺の現在のテンポラリーの納骨堂を永続的なものにするためにリサーチしてきました。このコミティーの一部の仕事として現在ある300のご遺骨の家族と連絡を取る努力をしてきました。現在納骨堂に安置されている方がおられるご家族はお寺にご連絡ください。

office@seattlebetsuin.org.

また、永続的な納骨堂にご興味がある方もご連絡ください。

ダーマスクール

イベット寺田、クレア村田

9月はダーマスクール(DS)の始まりです。一日目は喜びと音楽の日でした。別院メンバーと一緒に素晴らしい筆策(ひちりき)のコンサート楽しみました。DSの家族、先生、生徒が深親先生と一緒にステージにたち演奏しました。楽器を演奏する方はそのタレントをシェアし「ボーディー・アンサンブル」に参加されますように。

また、9月には生徒と家族がダイニングルームに集まり、レジスターし、ピザとゲームがあり、知り合いになる機会となりました。家族は太鼓グループ、ボーディーアンサンブル、スカウト、キャンプファイアの代表から話を聞きました。

今学年中にクラスのあった部屋に戻れることを願っています。DSは毎週続いていますのでお友達やご家族をお誘いください。

サンガのみなさんにはいつもご支援ありがとうございます。サーモンディナーをエンジョイされたことを願っています。DSの最初のファンドレイズは10月12日の餃子ランチです。この売り上げは2月にある西北部仏教大会に出席する生徒の補助金となります。

シアトル別院ダーマスクールへのご支援に感謝します。合掌、

初参りのご案内

初参りは赤ちゃんが初めてお寺に参って祝福をうけ、仏様とご先祖にご報告するための、尊前での喜びの式です。今年の初参り式は10月26日10時より対面で執り行われます。幼児に限らず何歳でも参加できます。申し込みは10月19日までに別院事務所まで下記のインフォをメールしてください。

ダーマ・スクールから詳細を連絡します。ご質問は別院事務所 office@seattlebetsuin.org

206-329-0800まで。シアトル別院へのご寄付も感謝いたします。

レジスターに必要なインフォ：子供の名前、子供の生年月日、両親の名前、住所、電話番号、メール

11月のカレンダー

2日 別院大掃除

9日 シアトル別院創立記念日・永代経無縁法要

22日 ピーター・ハタ師セミナー

23日 秋の音楽法要

サーモンディナー

9月20日に催されたサーモンディナー・ファンドレイズでディナーを購入された方々に感謝いたします。サーモンおよびポークディナーをエンジョイされたことと願っております。スプリングバザーからの変更で始めた2013年より多くの嬉しいコメントを多く頂いています。最後に催された2023年には1000食以上のオーダーがありました、それよりセールスは少し減りましたが734食が販売されました。経費などの詳細はまだありませんが売り上げは2万3千ドル、うち2千ドルはオーダー時のご寄付でした。

200人以上の方がオーダーされました。ファンドレイズによりお寺の運営及び浄土真宗プログラムがサポートされます。サンガの皆さんのボランティアに感謝します。

イベントの1週間前の漬物の準備から始まりました。ボランティアの方々は全ての部分がスムーズにいくようにされました。ドライブスルーの時間を15分ごとにわけて申し込みをする、かくスロットは50人のリミットがありました。サーモンディナー・コミティーのメンバーは一日中ベークしたり、準備をしたりしました、感謝します。

シアトル別院へのご支援に感謝すると共に今後のご支援もよろしくお願いいたします。

シアトル別院理事会よりのお願い

別院の放火後の再オープンも近づいてきました、メンバーの方々に別院より理事になり、理事会の一員としてご奉仕されるようお願いしています。私たちのお寺にとって極めて重要な時期であり、今後のリニューアル、成長、変化期において、理事としてメンバーをリードし、目的へのガイドをヘルプするチャンスです。あなたのリーダーシップがこの過程において重要になります。

別院理事はお寺を強く活気あるよう維持する重要な役割があります。プログラムやイベントの支援のほか、財政管理、戦略計画など、設備がコミュニティーに適しているか、理事会の仕事は人々のお寺で過ごす時を快適にすることでもあります。任期は3年で、毎月会議があります、またお寺の活動に参加します。

放火の被害に遭ってから再開まで、今後の数ヶ月は特に有意義な日々です。お寺のミッションに熱い気持ちを持ち、次の世代に繋がるよう奉仕したいというメンバーが必要です。いつかお寺でもっと活発に活動したいと思っていた方、この記事に関してのご質問などはアン0かグレースTまでご連絡ください。合掌、

別院維持会費

別院維持会費はお寺の維持・運営の経費になります。また運営とプログラムの経費になります。70歳以下は最低400ドル、70歳以上は350ドルです。今年の維持会費の締め切りは9月31日です。

9月ボランティア サンキュー

日曜法要： ステフ小嶋、ケミ中林、アレックス坂本、ポール森、マリッサ・ウォング、リック・ウォング、コニー尾関チン、ハリソン・チン、ハワード・ルーク、ベティー中島、キラ中島、ディーン・オシールド、アン・オックスライダー、イベット寺田、エリン・テイラー、グレース田妻、シャリオン頼経

デニス柴田は毎週ウイステリア・パークと別院の近辺をお掃除してくれます、ありがとう。



ミュージック・ノート

ケミ中林

8月31日に日と9月7日の深親亮介師の筆策（ひちりき）の演奏は当日お参りに来られた方々が感動され、ダマスクールの初日をとてもスペシャルにしました。お寺の弦楽奏者のヒュー、アン、アキとクレアはシアトル雅楽奏者、綾乃さん、楠先生と私と深親ユミさんの「さくら、さくら」と「ニュー・ワールド・シンフォニー」リハーサルにも参加してくれました。特別な称賛はジェシー・モネハン、別院のプログラムのスタッフ、はジョン・バトラー、キーボード、深親師と共に素晴らしいドラムを披露してくれました。見逃された方は別院のユーチューブチャンネルで見られます。

youtube.com/@SeattleBuddhistTemple

深親先生のユーチューブチャンネルもあります。ご覧ください。

youtube.com/@japanesemusic.hichiriki

ホノルルでジム・ノートンと私はトリステート、カリフォルニアとデンバー仏教会、ハワイ州の仏教会よりのBCAシンガーズとに合流し9月20、21日のコーラルフェスに参加しました。このイベントは本派本願寺ハワイミッションでありました。土曜日にはコンダクターのノラ・ナフル、ピアノのフランシス・岡野と共にリハーサルをしました。日曜日の音楽法要では習った5曲を105名のコーラスと共に披露しました。20年前に始まったこのフェスですが以前は隔年でしたが2020年の年のフェスを計画していましたがコロナの感染症が広まりこの度がその後初めての機会となりました。



BCA シンガーズ

秋の音楽法要が11月23日あります。ピーター・ハタ師がゲスト・スピーカーです。ハタ師はロサンジェルス東本願寺をリタイアされました。先生は南加州のバンドヒロシマのオリジナルのギター奏者です。11月22日にはスペシャルなトピックのセミナーを開いて下さいます。**Connecting the World Through Music: How Astronaut and Musician Sarah Gillis Brought Together Youth Orchestras From Around the World...While in Orbit Hundreds of Miles Above the Earth.**



お寺の弦楽奏者、雅楽奏者、深親師、ユミ夫人（スージーY提供）
深親師がジェシーとジョンを紹介（ケミN提供）

別院理事会議のハイライト

- ・新しくミッション・ステートメント：私たちは歓迎するコミュニティーであり、マインドフルネス（気づき）、慈悲、報恩を育みます。
- ・タイラーがウィステリア・ハウジング・リーダー、低所得者ハウジング・インスティテュートとの話し合いを始めました。セールやお寺の所有地を開発するなどの将来の可能性についての会話。
- ・アップデート：本堂・お内陣などを含む再建を2月から始めます。
- ・いかに維持費などを縮小できるか、お金をレイズできるかをサンガメンバー全員で話し合い、エンダウメント・ファンドを以前の額に戻すか、増やせるかについて検討する。
- ・11月15日のあやめ会クラフトフェアにてお寺のテーブル用意されます。10時-2時まで。

別院婦人会の活動基本方針 (ミッション・ステートメント)

浄土真宗に基づく仏教徒としての認識を高め、会員の親交を促進すること:シアトル別院を支え、支援し、地域社会に貢献する:

私たちが作れない古くから伝わる日本の食べ物の作り方を習う機会が多くありました。お友達と一緒に作るのは楽しいと多くの方が思われます。婦人会メンバーとお手伝いくださった方々がキャベツを切り、計り、ミックス、クリーンアップをして下さりサーモンディナーに漬物を添えることが出来ました。



写真: 上、お仏壇
おはぎのお供え
左:漬物づくり, 左から, シャー, まちこ, ジョーン, ナイナ, 加奈子, フラン
右: 洗い物, マイ K

ビッグサンキューをフード・コミティーの責任者に、サーモンディナー用とお彼岸法要のおはぎを同じ週末に作りました。アンHとゲールSが3日にわたるこの大切な日をオーガナイズし、あんを計り、丸め、包んでパッケージにしました。二人はヘルパーのために美味しい食事を用意しました、皆さんありがとう。



おはぎ作り: 上左から、シズ、エリン、スージー
左: ロレイン、ダーリン 右: 左から、加奈子、アン、ナイナ、スージー

2023年に京都で開かれた仏教婦人会世界大会に多くの方が参加されましたが多くの方が日本語をよく理解できませんでした。エミNに出発前にズームでレッスンをしてもらいました。彼女は辛抱強く有能な先生でとても役立つ言葉を楽しめるレッスンで用意していました。テリーズ・キッチンで催された東京グループ・ジョシのベネフィット・ショーに参加されましたか。ショーに行かれた方は音楽とコミュニティーのサポートは素晴らしかったです。エミが当日バンドの通訳をしました。おかげさまで彼女達のメッセージが理解されました。



東京グループ・ジョシと地域の
ミュージシャン
ジェフCとレナードB

東京グループ・ジョシとエミン

10月の活動の予定

ピククルボール なし

19日 婦人会先亡者追悼法要

19日 婦人会理事会会議

Seattle Betsuin Buddhist Temple
GUEST SEMINAR SERIES

**CONNECTING THE WORLD
THROUGH MUSIC**



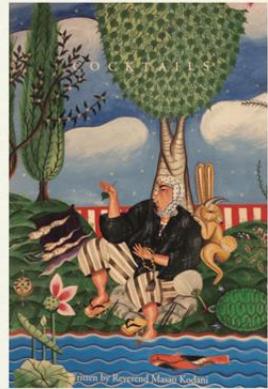
How Astronaut and Musician Sarah Gillis Brought Together Youth Orchestras From Around the World... While in Orbit Hundreds of Miles Above the Earth

Seminar by
Rev. Peter Hata

Saturday 11/22, 1:30-3pm
Seattle Betsuin Buddhist Temple, 1427 S Main Street
(Zoom and in-person)
Registration: \$10 for Temple members, \$20 for non-members

**SEATTLE
BETSUIN
BUDDHIST
TEMPLE**

**ENGLISH
DHARMA
DIALOGUE WITH
REVEREND
KUSUNOKI**

Sept 16, Oct 21, Nov 18, Dec 16
(every Third Tuesday) | 6:30PM
all classes will be held online, via Zoom

Join Reverend Katsuya Kusunoki for informal evening dialogues on Buddhism. Sensei will cover topics from 'Cocktails' by Rev. Masao Kodani. There is no cost to attend. Donations are gratefully accepted.

REGISTER HERE WWW.SEATTLEBETSUIN.ORG/SEMINARS

楠先生のクラスの案内

10月21日、11月18日、
12月16日
6時半より

詳細は事務所まで

ピーター・ハタ先生のセミナーの申し込み方は後にお知らせします。



歴史ある「テング・クラブ」のドキュメンタリーフィルムをYouTubeでご覧になれます。9月に別院で上映され好評を得ました。

1900年より主に日系人が集まりフィッシングを楽しむ歴史と日系人

への差別などが描かれています。ぜひご覧ください。30分横のブルーのボタンをクリックしてください。

[Watch The Tengu Club here](#)